

(1) 農業農村整備事業における建設コンサルタントの役割

農業農村整備事業における建設コンサルタントでは、行政によって事業が決定され予算化されたあと、行政の依頼を受けて主に①農業水利事業、②農地防災事業、③農地整備事業を行う。①農業水利事業では、ダム・堰・用排水路などを整備している。②農地防災事業では排水施設の整備や地すべり対策、ため池の改修など、農地における災害対策を行っている。③農地整備事業では、水田の区画整備等を行い、効率的な水田管理・灌漑整備を実現させている。日本では、行政から依頼された事業を行う設計者と施工者が分離しており、前者を担う建設コンサルタントは、その土地を評価検討、土壌などの調査をした上で設計し、施工後も維持・点検を行う。人間の生活や農業において重要な水を管理し、有効活用していくことにおいて、建設コンサルタントは重要な役割を果たしている。

(2) 印象に残ったキーワード

今回のお話を聞いて、今まで曖昧なイメージをもっていた建設コンサルタントという仕事について具体性をもって知ることができ、とてもおもしろかったです。専門性の重要性のお話も新鮮でぜひ参考にしたいと思いました。講義の内容のほとんどが自分の知らなかったことで興味深かったのですが、正直一番印象に残ったキーワードは「ゴルフ」です。

建設コンサルタントという仕事に直接的に関係のない話でしたが、大村社長がゴルフについてお話していたのが一番印象に残っています。彼が、「ゴルフに限ったことではないが、何かに夢中になって一生懸命に取り組むというのは、将来に役立つからとかではなくても大切なことだと思う。」という旨のお話をされたとき、自分の中でスティーブ・ジョブズ氏のスタンフォード大学でのスピーチとつながったからです。Stay hungry, stay foolishという題の有名なスピーチの中で初めに「connecting the dots」という話があります。ジョブズ氏が大学を中退した後、自分の好きな授業にもぐりこんでいたことが後でたまたま役に立ったという話をしながら、自分がしていることが将来役に立たないような“点”に見えても、あとで振りかえってみると点と点がつながって“線”になることがあるから、今やりたいことをやっておきなさい、という教訓を伝えるものでした。大村社長のゴルフの話もこの話に通じるものがあるだろうと思います。私も「将来必要になるだろうから」という理由などではなく、自分の好きなことや興味のあるものに積極的にアクセスしていきたいと考えました。

参考：<http://news.stanford.edu/news/2005/june15/jobs-061505.html>